

平成23年7月22日

高松市長 大西秀人様

高松市庵治地区地域審議会  
会長 上北東太郎



建設計画に係る平成24年度から26年度までの実施事業に関する  
意見の取りまとめ調書について（提出）

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申しあげます。  
日ごろは、本地域審議会につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し  
あげます。

さて、平成23年5月18日付け高地政第66号で依頼のありました建設計画に係  
る平成24年度から26年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、本  
地域審議会としての意見集約を図り、別紙のとおり取りまとめをしましたので、提出  
いたします。

つきましては、取りまとめ事項の予算化および事業化について、格段の御配慮をい  
ただきますようお願い申しあげます。

**建設計画に係る平成24年度から26年度までの  
実施事業に関する意見の取りまとめ調書**

**平成23年7月**

**高松市庵治地区地域審議会**

**建設計画（合併基本計画）に係る平成24年度から26年度までの  
実施事業に関する意見について**

地区名：庵治地区

番号	項目	意見の内容
1	子育てと仕事の両立支援について（病後児保育の充実）	<p>平成24年度から高松型の幼児教育カリキュラムが、策定され幼保一体化の混合保育が予定されています。</p> <p>核家族化が進み仕事を持つ子育て世代が増えている昨今、子どもの病気は大分良くなつたが保育施設へ行くのは難しい状況で、保護者が仕事を休めない場合、安心して預かってくれる病後児保育の充実を要望します。</p>
2	学校教育および保育の充実について	<p>幼保一体化については、昨年から度々、説明会を実施されていますが、未だに保護者間では、不安感を抱いている方が多く見られます。保護者の不安解消のためにも、今後とも十分に説明会を実施されるよう要望します。</p> <p>また、幼保一体化後の教職員の人数は、子どもたちの人数によって決まつくると思われますが、特に0～3歳児の保育については、十分な人数を確保していただくと共に、幼稚園児の延長保育の実施についても柔軟な対応を検討していただきたい。</p> <p>合わせて、小・中学校の児童数の減少に伴い、教職員の人数が、年々削減されていますが、ゆとり教育の取組みとして、部活動などの課外活動等を充実させるためにも、非常勤講師等の積極的な導入を要望します。また、複数担任制、少人数授業についても継続して充実を計るよう要望します。</p> <p>なお、保育所移転後の施設の利用については、地域の子育て支援および子どもの居場所づくりの一環で、「あじ児童館」として利活用してはどうかと思われるが、今後の計画について、お聞かせ願いたい。</p>
3	防災対策と防災行政無線の整備拡充について	<p>東日本大震災発生後、高松市では、南海・東南海地震の発生が懸念されているところですが、地震発生時の津波による浸水等が予想される指定避難所の見直し、また、避難後の備蓄物資等の搬入システム、その後の避難所の管理運営等についての方針をお聞かせ願いたい。</p> <p>防災行政無線のデジタル化については、平成27年度に完結される予定であり、現在、屋外拡声機が聞き取り難い家庭に設置されている戸別受信機は、更新されないとお聞きしています。</p> <p>また、庵治町内単独での放送もできなくなるとのことですですが、これは、今後非常に問題があることと思われます。</p> <p>そこで、それらをカバーするための町内単独の放送設備の設置、および戸別受信機に代わる防災ラジオ等について、現在、検討中と聞いていますが、現段階の状況、今後の計画等の詳細について、お聞きしたい。</p>

建設計画（合併基本計画）に係る平成24年度から26年度までの  
実施事業に関する意見について

地区名：庵治地区

番号	項目	意見の内容
4	小規模ため池の管理および防災対策について	<p>現在、高松市には、約2,700余りのため池があると聞いています。農業者の減少や高齢化、また、それに伴う受益地の減少などにより、管理が難しくなってきて、既に管理放棄され、防災上危険な老朽化した小規模ため池が町内にも多く点在しています。</p> <p>香川県においては、「県地域防災計画」を見直しし、「今すぐ対応する」事業の分類に、決壊した場合に甚大な被害が予想される貯水量10万トン以上の大規模ため池のハザードマップの作成支援を掲げています。</p> <p>また、高松市における支援モデル事業としても、「ため池守り隊事業」を実施しているようですが、対象を用途地域内に限定しており、また、住宅等に近い周辺環境の維持目的として、実施していくようです。</p> <p>そこで、高松市として、もっと、市内全域を見渡した広い視野で捕らえていただき、管理放棄され老朽化した個人所有のため池について、埋立等も含めた防災対策および今後のため池の維持管理について、考え方をお聞きしたい。</p>